

単元名「ウニの生態を調べよう」(10時間)

1 単元設定の理由

種差地区は、ウニ漁が盛んである。ウニ漁が行われる時期になるとウニの殻剥きを行っている家庭が多く、児童も殻剥きの手伝いを行っている。しかし、漁業を中心に生計を営んでいる家庭がないせいか、ウニの生態やえさのことなどについては、ほとんど知らないことばかりである。海に近い学校として、身近な産業であり、自分自身も将来関わることも考えられるウニ漁について、自分の言葉で語るができるよう学習を進めていきたい。

2 単元目標

- ①ウニの種類や体のつくりについて理解する。
- ②ウニの成長の様子を観察し、その仕組みを理解する。
- ③ウニについて興味を持った部分は自分でさらに調べ、みんなに分かりやすく発表する。

3 単元の評価規準

- ア：ウニの種類や体のつくりについて理解することができる。
- イ：ウニの成長の様子を観察し、その仕組みを理解することができる。
- ウ：ウニについて調べたことを、みんなに分かりやすく発表することができる。

4 単元の指導計画

時	対象	学習活動	指導上の留意点
1	全校	○ウニの種類や体のつくりを知る。	・八戸水産事務所の方からウニの種類や体のつくりについて話を聞く。
1	全校	○ウニの成長の様子を知る。	・種苗センターを見学し、ウニが大きくなる様子を観察する。
2	全校	○ウニの殻剥きを体験する。	・ウニが何を食べて成長しているか殻の中を観察させる。
2	全校	○今までの学習を他校に紹介する。	・遠足を利用して、海洋教育に取り組んでいる洋野町立中野小学校と交流し、これまで取り組んできた学習について報告する。 ・学習発表会においても同様に発表させる。
1	全校	○ウニを放流する。	・誕生後1年で20mmに成長した稚ウニを放流する。
1	全校	○ウニの赤ちゃんを誕生させる。	・ウニの孵化実験を理科室で行う。
5	3～6年 5・6年	○今までの学習の成果を発表する。	・今まで観察したことや自分で調べたことを全校の前で発表する。 ・5・6年生は、参観日において保護者の前で発表する。
外部連携／教材等 八戸水産事務所、八戸みなと漁業協同組合種苗センター、深久保漁業生産部会			

単元名「種差の海を守ろう」（2時間）

1 単元設定の理由

種差地区には、三陸復興国立公園に指定されている種差海岸があり、芝生地や遊歩道には多くの市民が訪れている。遊歩道には、特殊な気候や地形を生かした貴重な植物も多い。美しい景観を守るためには、ゴミを取り除くとともに、外来植物から固有の植物を守らなければならない。年に一度であるが、全校児童による種差海岸芝生地のごみ拾い活動を計画している。自分達の手で美しい景観を守ろうという意欲づけになる活動であり、地域の財産についての関心を高める機会ともなっている。また、オオハンゴンソウという外来植物は、種差海岸の生態系をおびやかす存在であり、10年近く、ボランティアの方と一緒にオオハンゴンソウの駆除活動を行っている。昨年駆除したと思っても、また芽を出す外来植物である。まさしく根こそぎ駆除しなければならない活動であるが、根気強く続けていきたい。

2 単元目標

- ①全校で協力してごみ拾い活動を行い、地域に対する関心を高める。
- ②オオハンゴンソウの見分け方を知り、駆除する。
- ③地元の美しい景観を守るために、自分達がすべき行動を考える。

3 単元の評価規準

- ア：全校およびなかよし班で協力してごみ拾い活動を行い、地域に対する関心を高める。
- イ：オオハンゴンソウの見分け方を知り、駆除することができる。
- ウ：地元の美しい景観を守るために、自分達がすべき行動を考えることができる。

4 単元の指導計画

時	対象	学習活動	指導上の留意点
1	全校	○種差海岸芝生地のごみ拾い活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・たてわりなかよし班のメンバーでごみ拾い活動を行う。</li> <li>・ごみを拾うのは岩場までとし、危険な所のごみ拾いは行わない。</li> <li>（6月5日を予定していたが、雨天等のため9月20日に実施した）</li> </ul>
1	3～6年	<ul style="list-style-type: none"> <li>○オオハンゴンソウの駆除活動を行う。</li> <li>・種差海岸ボランティアクラブの方の説明を聞き、オオハンゴンソウの見分け方を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鎌の使い方に注意しながら、安全に活動を行う。</li> </ul>
外部連携／教材等 種差海岸ボランティアクラブ			